

# 交通安全教育に高い評価

あす、親子が園内外で活動  
表彰式

城陽市寺田大谷にある学校法人ヨゼフイーナ学園・芽生え幼稚園(西岡京子園長)が交通安全活動への積極的な取り組みが評価され、府交通対策協議会(会長 山田啓二知事)から06年度の団体表彰を受けることが決まった。表彰式はあす19日に府公館レセプションホールで開かれる。

芽生え幼稚園は1980年4月の開園とともにスタンド式模擬交通標識、その翌年には電動式模擬信号機を購入し、園庭に白線で道路や横断歩道を作り、園児を対象とした実践的な交通安全教育を展開。また府警の協力を得る中、保護者会活動の一環としてセーフテイククラブを立ち上げ、親自らが交通安全教育の方法を学び、学期ごとに園児対象の教室を企画・運営。さらに同クラブの活動は園内だけでなくとどまらず、2000年7月に再建された市交通安全女性の会(稲味史子会長)に加盟し、地域の交通安全活動の一翼を担うまでに充実、発展した。

そのほか、子供が卒園した保護者の中でも「交通安全活動を続けたい」との声が高まり出したことを受け昨年『芽生え青りんこの会』も誕生。早速、小学生や幼児を対象に交通安全意識を高める取り組みを始めているが、これらも同園の援助なしには実現しなかったと言える。

そして今年度からは西岡園長を含む全職員も市交通安全女性の会に加入。文字通り同幼稚園を挙げて地元の交通事故防止にあたっている。

これら25年に及ぶ活動が高く評価され、府交対協から団体表彰を受けることになり、西岡園長らは喜びをかみ



【親子で横断歩道の安全な渡り方を確認し合う】